★ 重点事項に関わる本年度努力事項と具体的取り組み (その1)

重点事項:学力の向上による	進路保障			主担当	スケジュール	備考「冊子」
(年度努力事項) 授業力の向上		具体	1 教科内での連絡を密にし、授業シラバスを確立し、適切な教材の共有化を図る。	学年	随時	
(目指す姿) 教員が自分の授業力を向上させ		的取	2 新課程入試に向けて入試問題分析を行い、授業力の向上に努 める。	進路	各種模擬試験	
るために日々研修に練磨することで、生徒が満足できる授業が 展開され、それが学力面に好影	授業力向上に努めて	り組み	3 7月と12月に授業評価を実施し、問題点を明確にし、授業の改善を行う。	学力向上	随時実施	随時アンケート実施
響を及ぼす。 いる。 (年度努力事項) すべての生徒の学力の向上 (TRUS)		具体的	1 平成 26 年度教育課程を円滑に実施するために、バランスの良い時間割を作成する。 2 生徒ひとり一人の進路実現をめざして、より適切な教育課程	教務 教務	4月実施(教務)	アンケート実施
(目指す姿) 生徒が日々の授業に知的好奇心 を燃やして主体的に参加し、学 ぶことの楽しさを体感し、潜在		取り組	2 全体のとり一人の虚断実現をあさして、より過期な教育課程 の編成を工夫する。 3 朝学習の内容を精選し、基礎基本事項の定着を図り、補習や 面談を通して、学力不振者へ丁寧な指導を行う。	- 契 扱 学年・進 路	放課後、土曜日、	ブグード 夫 心
的な力を向上させる。	いる。	み	4 専門科目の着実な定着を図るために学科や学年に応じた指導 を行うとともに、全商主催検定1級の取得率の向上に努める。	商国	長期休業中実施通年	
(年度努力事項) 進路実績の向上		具体	1 第一志望校決定に際し、主任面談を実施し、進路実現に向けての意欲を高める。	2 学年	2年1月以降	
(目指す姿) 第一志望届により、早期に目標 設定させる指導により、質の高	(現状) 第一志望届により生 徒の進路意識を高め、	的取り	2 実力考査結果を各教科、個々の生徒について検討し、個人成 績推移や学習記録を有効に利用した面談等を通じて、進路指導 に生かす。	3 学年 学年・進	模試終了後 6 月新課程入試対	
い学習を継続させ、進学校として着実な実績を残す。	主任面談、担任面談を 通して、進路に向けて 意欲を高めている。	組み	3 学年別に進路研修会を持ち、生徒の学習状況や大学入試情報 を共有し、生徒の進路実績向上に努める。	路路	策、大学入試動向	

★ 重点事項に関わる本年度努力事項と具体的取り組み (その2)

重点事項:豊かな人間性を持った生徒の育成				主担当	スケジュール	備考「冊子」
(年度努力事項)		具	1 生活3原則の徹底。特に、登校時の生徒の様子を把握し、心の	生徒指導	毎日校門指導実施	
規律ある態度の育成		体	こもった挨拶ができるように働きかける。	学年		
(目指す姿)	(現状)	的	2 部活動の活性化を推進しながらも、効率的な練習計画により学	生徒指導	部長会議を学期に2	
自己を律する精神を涵養し、個	生活3原則を徹底す	取	習との両立を図る。		回	
人と集団との関係を思慮し、相	ることで生徒の基本	り	3 体育大会・コーラス大会などをとおして、クラスの一員として	学年		
手のパーソナルを尊重できる	的な生活習慣を確立	組	の意識を高めるとともに、学校行事を通じてクラスをまとめるリ		行事毎	
生徒を育成する。	している。	み	ーダーを育成する。			
(年度努力事項)		具	1 生徒会行事に積極的に参加し、学校周辺の清掃活動を実施する	生徒指導	6月と12月にクリーンキャン	
ボランティア体験の実施		体	ことで、奉仕精神を高める。		ペーン実施	
(目指す姿)	(現状)	的				
進んで奉仕活動に従事するこ	学校周辺の奉仕活動	取	2 寺子屋交流事業や老人ホーム訪問、実験観察教室など「高校生	総務	随時実施	
とで、体験学習の大切さや喜び	や「高校生ふるさと貢	り	ふるさと貢献活動」に積極的に取り組むことで、地域との連携を			
を学ぶ。そして、地域との連携	献活動」に参加するこ	組	深める。			
を深め、信頼の置かれる生徒を	とで、生徒に体験学習	み				
育成する。	の大切さを学ばせて					
	いる。					
(年度努力事項)		具	1 職員の人権意識を高めるとともに、各学年の「生き方ホームル	人権		
人権教育の充実		体	ーム」を充実させる。			
(目指す姿)	(現状)	的	2 海外の人々との交流を通して、文化や価値観の多様性を認識さ	国際理解	・夏休みオーストラリフ	ア国際交流研修
人間尊重の精神を涵養し、日常	「生き方HR」につい	取	せる。日本の文化を紹介できるようにする。		・その他の国際交流	
生活において人権を尊ぶ態度	て、3 班構成で事前研	ŋ			・テレビ会議	
を育てる。自らを見つめ、より	修の場を持ち、学校全	組	3 生徒への教育相談の充実とともに、先生方へは校内カウンセリ	保健	・教育相談	
よい生き方を追求できる人間	体で取り組む体制を	み	ングマインド研修会を実施し共通理解を図る。		(年間30回予定)	
を育成する。	作っている。				・職員対象の研修会	
					(「カウンセリングマインド」を予定)	

★ 重点事項に関わる本年度努力事項と具体的取り組み (その3)

重点事項:地域に信頼される学校づくり				主担当	スケジュール	備考「冊子」
(年度努力事項)		具	1 HP、学校公開、学校評価の充実と学校案内パンフレットを充	情報図書	随時実施	
情報発信の手段と内容の充実		体	実させる。	総務・学年		
		的		学校評価		
(目指す姿)	(現状)	取	2 平成27年度入学者選抜からの新通学区域(第3学区)におけ	情報図書	随時更新	
HP、学校公開等で最新の情報	HPの充実により、保	り	る本校の特色を、ホームページを通じ強くアピールする。			
を発信し、保護者・地域住民等	護者や地域に対して	組	3 探究発表会において、探究活動の成果を口頭とポスターにて発	科学総合	3月下旬に探究発表	
に情報を提供し、理解と参画を	学校の情報を的確に	み	表し、保護者や近隣の中学生などへ取組を情報発信する。		会実施(次年度に「探	
得て連携協力を進める。	発信している。				究論文集」刊行)	
(年度努力事項)		具	1 7、12月に学校評価アンケートを実施し、PDCAサイクルを	学校評価	7月と12月に実施	
教職員の意識の高揚		体	機動化させて教育活動を活性化させる。			
(目指す姿)	(現状)	的	2 学期ごとに「生き方ホームルーム」の事前研修会を実施し、効	人権		
学校評価制度が明日からの小	年間2回実施の学校	取	果的な授業方法の検討と人権意識の向上とを図る。			
野高校をよりよい方向へと進	評価により、課題を明	ŋ	3 学年団だけでなく、部活顧問や教科担当者との情報交換を密に	学年	随時	
ませる指針とし、教育活動の活	確にして、教職員が各	組	し、生徒理解に努める。			
性化につなげる。	部署で改善に努めて	み				
	いる。					
(年度努力事項)		具	1 商業科・国際経済科全員と普通科希望者へインターンシップを	インターンシップ゜	5月下旬~11月上旬	インターンシップ。報
地域との連携		体	実施し、地域との連携を図る。		(実習は8月中)	告書
(目指す姿)	(現状)	的	2 地元企業と連携した販売実習や専門科目の授業を利用した商	商国	通年(商国)	冊子の作成
学校・家庭・地域が三位一体と	インターンシップや	取	品開発、地域の課題解決の調査研究活動を実施する。			
なり、お互いが連携することに	販売実習、インスパイ	ŋ	3 インスパイア・ハイスクール事業において、兵庫教育大学と高	科学総合	7~10月にかけて実施	レポートの提
よって、質の高い組織体とな	ア・ハイスクール事業	組	大連携により探究の手法を学ぶ。			出
り、開かれた学校づくりに邁進	を通して地域と連携	み				
する。	を深め、開かれた学校					
	づくりに邁進する。					